

HI演習評価実験レポート

1016044 木下唯衣

評価目的

今回の評価実験では、既存の函館空港webサイトと筆者がHIの視点から改善した函館空港webサイトを比較し、筆者が改善した函館空港webサイトの効率性を検証する。以下、既存の函館空港webサイトを「既存サイト」、筆者が改善した函館空港webサイトを「改善版サイト」と記述する。

評価手法

**評価指標** 定量的かつ客観的な評価指標として、タスクの達成までにかかる時間がどのように変化するかを検証した。

**被験者** 公立はこだて未来大学情報デザインコースの3年生の、男3名女3名の全6名を被験者として実験した。当大学では主にPCを用いることから、PC操作については熟達者であるとみなした。

**比較手法** 既存サイトと改善版サイトを比較した。

**タスク** 就航先を把握する

**実験手続き** 被験者に対して、実験を行う前に「あなたは友達と旅行先を決めている最中です。そこで函館空港から一本の飛行機で行ける都市を調べ、私をその友達と見立て、教えてください。伝える手段は指定しません。読み上げても指差しでも構いません。次にその中から旅行先を決め、私に伝えてください。次に函館空港からその場所へ向かう便を出している航空会社を探し、私に伝えてください」と説明をした。順序効果を防止するため、3名に「改善版webサイト→既存webサイト」の順番に、残りの3名に逆の順番に実施した。

**教示** HIに慣れてもらうための練習時間は確保しなかった。

**計測方法** 初めの合図とともにタイムウォッチを使い計測を開始した。すべての就航先の都市を伝え終わった時点で名前を言い切った時点で計測終了とした。15分経過の時点でタスクを完了できなかったとみなす事にした。

結果と考察

**結果** タスク達成平均時間は提案手法で 33 秒(標準偏差 10.9)、比較手法で 63 秒(標準偏差 31.7)となった。また、有意水準 5%において両側検定で t 検定を適用した所、 $t(5)=1.96$  であり、平均値の差に有意な差が得られた。タスクの達成時間の平均を右図に表す。

**考察** 提案手法で大きくタスク達成時間が短縮できた原因は、グローバルナビゲーションの項目の具体化であると考えられる。なぜなら、改善版サイトを利用した被験者は既存版サイトを利用しているときよりもグローバルナビゲーションから目的のものを探し出すときに時間をかけていないからだ。

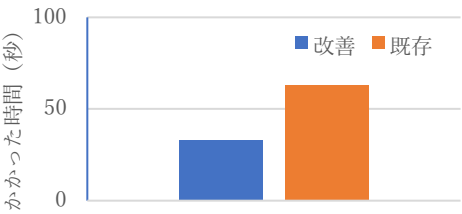


図1. タスク達成時間

改善点

今回の結果から、グローバルナビゲーションの大切さがわかったので、よりグローバルナビゲーションを HI の視点からわかりやすい、理解しやすいデザインにする。